

第 2 回寝屋川市緑の基本計画審議会における意見内容と今後の対応方針

関連項目	意見内容	今後の取り扱い
アンケート結果の集計	○ クロス集計方法について。(地域別解析、年齢階層的解析など)【増田委員】	○ ご指摘内容を踏まえクロス集計する。【資料 3-1 p2】
	○ 問 7「市全体のみどり量」と、問 9「最近 15 年のみどりの増加」をクロス集計願う。【山野委員】	
	○ 自由記述について、アンケートの項目と連動させて整理しておくべき。【増田委員】	○ 自由意見について、項目ごとに整理するとともに、検討経過をホームページで公開する。【資料 3-1 p13】
	○ 自由記述について、基本計画への反映方法等のフィードバックが必要。【石田委員】	
みどりの現況	○ 植物育成に必要な年間の降水量や気温分布などの気象データを入れるべき。【増田委員】	○ 既存データを整理、追記する。【参考資料 1 P1～3】
	○ レッドデータや地域計画対象民有林の推移について、表としてまとめるべき。【増田委員】	
	○ 市の地歴や元来からの植生について整理するべき。【工藤委員】	
みどりの課題	○ 「良好な住宅地」について、市民が誤解する恐れがあるため表現を精査するべき。【山野委員】	○ 「ゆとりある住宅地」に修正する。【資料 4 P17】
	○ 淀川左岸幹線水路の桜について、「サクラ☆プロジェクト」に含まれないのか。【石田委員】	○ 対象外であるが、保全調査等を検討する。また、プロジェクト等の定義について、計画内の脚注として記載する。
	○ 全ての課題解決を同時進行するのか。選択と集中も必要ではないか。【北川委員】	○ 今後検討する具体的施策や重点項目の抽出などを踏まえ、選択と集中による施策展開を見据えた計画とする。
	○ みどりの保全として淀川が記載されたことにより、今後の市の積極的な取り組みを期待する。【石田委員】	○ 淀川河川公園地域協議会との更なる連携等を掲げる。【資料 4 P30】
	○ 課題表現(検討課題)について、今後の具体的な取り組み方針を見据えて精査するべき。【増田委員】	○ 基本方針の内容を踏まえ精査する。【資料 4 P15～26】
	○ 「協働のみどり」において、市民緑地制度やみどり法人、公園協議会を記載するべき。【増田委員】	○ 都市緑地法改正等を踏まえ追記する。【資料 4 P26】
	○ 樹林地や農地など、里地と里山を一体的な空間として景観の向上に取り組むべき。【増田委員】	○ 里地・里山を農空間として分類する。【資料 4 P16】
	○ 駅前のみどりなどを含め、水・みどりと歴史・文化をつなげるよう取り組むべき。【石田委員】	○ 歴史等とみどりのつながり確保を目指す。【資料 4 P31】
基本方針	○ みどりの質的な向上が大事である。【北川委員】	○ 保全・充実(質の向上)・創出・ネットワーク、協働、進捗管理の枠組みより基本方針を構成するとともに、今後、個別施策の検討とあわせて、基本方針や目標値の記述を点検・充実させる。【資料 4 P28～31】
	○ みどりの保全・充実・創出・ネットワークを原則とし、これに対するソフトの仕組みとして進捗管理の問題と新たな公という関わりをどう誘発させていくかの枠組みが重要。【増田委員】	
	○ 個別施策を見据え、基本方針や目標値を振り返るべき。【増田委員】	
	○ みどりの基本計画以外の様々な計画との関連性を示すべき。【石田委員】	○ 関連計画を含めた体系図を示すとともに、個別施策ごとに関連する法制度や計画等を併記する。【資料 4 P1】
	○ 個別施策では、大小の公園緑地、農地、山林、河川等を個別に議論するべき。【中村委員】	○ 各資源の性質を踏まえた検討を進める。
目標値	○ 駅前等における緑視率について、現在の状況を踏まえた課題認識が必要。【増田委員】	○ 次年度に現況調査を実施する。
	○ 緑地面積等の目標設定は、現計画の達成状況とその原因を踏まえて検討するべき。【石田委員】	○ 再確認した上で目標を設定する。【資料 4 P32～33】
	○ 全体目標とともに、個々の施策に対して P D C A サイクルによる進捗管理をするべき。【増田委員】	○ アクションプランによる進捗管理を行う。【資料 4 P31】